

SOAI [相愛ファミリア]

# Familiar



大学で培った主体性と

行動力を活かして、

アドベンチャーワールドで躍動

2024  
No. 40



社会で活躍する卒業生

株式会社アワーズ (アドベンチャーワールド) 統轄部 総務課

折井 創 さん

2020年3月 相愛大学人文学部人文学科 日本文学専攻 卒業  
2020年4月 株式会社アワーズ 入社

動画はこちら▶



## 大学で培った主体性と行動力を活かして、アドベンチャーワールドで躍動

動物園と水族館、遊園地が一つになった南紀白浜「アドベンチャーワールド」。笑顔と感動が溢れるこのテーマパークに勤める折井創さんを訪ね、日々の仕事と相愛大学での学びや成長などについてもお伺いしました。

### アドベンチャーワールドでの仕事

折井さんがアドベンチャーワールドを運営する株式会社アワーズに入社したのは4年前。最初は運営部営業課に配属され、入園ゲートでのゲスト(お客様)のお出迎え・お見送り、券売窓口業務などを任せられました。その後、統轄部総務課に移り、アルバイトの面接・採用や電話対応など庶務業務を担当。現在は同じ総務課内で経理に関わり、主に旅行代理店との精算業務を行う一方で、パーク内アトラクションのパフォーマンスなどにも参加しています。「この会社は総合職採用なので、異動の際には動物の飼育や遊園地のオペレーター、飲食店舗で調理を行うこともあります。どんな時も積極的に挑戦しようと思えるのは、相愛大学での4年間があったからこそだと感じています」。

### 社交的な性格になった大学時代

折井さんが相愛大学人文学部を志したのは教員免許を取得できることと、独自のカリキュラムに惹かれたことが理由でした。「人文学部では1、2年次に幅広くさまざまな分野を学び、3年次から自分の興味や将来に合った専攻が選べます。国語科の教員をめざしていた私は専門的な知識を修得するために日本文学を専攻しました」。教室での学び以外にも、地域社会と関わる活動の一環として開催される『相愛寄席』で司会を担当し、オープンキャンパスでは学生スタッフとして高校生を案内、また教職課程の教育実習では多くの生徒とふれあいました。「入学当初は人見知りでしたが、人と話すことがどんどん好きになっていきました。いろんなことに挑戦する機会に溢れ、学生が主体となって学んで成長できるのが相愛大学の魅力だと思います」。

### 恐れず挑戦する姿勢が大切

教職課程と並行して行っていた就職活動で、興味を抱いたのがアドベンチャーワールドでの仕事でした。子どもたちの心の発育や思い出づくりを支える人になりたいと考えていた折井さんでしたが、自分の夢をかねるには教員以外の道もあることに気づいたそうです。採用試験前には大学の学生支援センターで面接の練習など細やかなサポートを受け、本番ではしっかりと自分の想いを伝えました。「私が今ここに居るのは、相愛大学での多様な学びや出会い、経験のおかげです」と笑顔を輝かせる折井さん。最後に後輩へのメッセージを聞いてみると、「興味・関心を持ったことには、恐れず挑戦してみしてほしい。将来に悩んでいる方も在学中に目標が定まり、行動すれば結果がついてくる大学です」と力強く語ってくれました。

## Broadcast *Greats!*

### 中学・高校 放送部 『株式会社毎日放送との包括連携協定』

2023年9月28日、相愛学園は大阪市内にある株式会社毎日放送と包括連携協定を締結し、相愛中学校・高等学校で調印式を行いました。今回の包括連携協定では、それぞれが持つ資源と人材を活かしてグローバル

化、AI化が急加速する社会において、相互に協力し、教育の充実並びに地域社会の形成と発展に寄与することを目的としています。

さらに、毎日放送のアナウンスセンター長である西靖様(相愛大学客員

教授)には、放送部のご指導もいただくこととなりました。現場で働く方からのご指導は放送部員にとって、大変貴重な経験です。生徒たちも今後の活動に期待を膨らませている様子でした。



## Advanced & Music *International!*

### 高校特進コース・音楽科 『神戸龍谷高校での国際交流会(ラトビア共和国リガ文化学校)』

神戸龍谷高校にて、ラトビア共和国のリガ文化学校から来た留学生との国際交流合同授業を行いました。本校からは、高1・高2の特進コースと音楽科が参加しました。

各校のプレゼンテーションでは、代表生徒が国や町(ラトビア、神戸、大阪)につ

いて英語で紹介し、それぞれの町に関する戦争と平和についても発表しました。その後、各校のメンバー混合の10班に分かれて、「平和と紛争」をテーマにディスカッションを行いました。最後は、本校音楽科の演奏と合唱、さらに皆でラトビアの愛唱歌を斉唱しました。参加した生徒は国際化の見聞を深めることができました。



### 教養講座華道

### 第7回全国高校生花いけバトル全国大会 読賣放送密着取材



©全国高校生花いけバトル実行委員会

2022年度に開催された「第6回全国高校生花いけバトル全国大会」にて優勝を果たした『相愛楓葉(メープルリーフ)』の松田楓・上田奈々葉ペア(共に2023年度卒業)。優勝後から読賣放送の密着取材がスタートし、2023年度大会に向けて大会史上初の連覇に挑む二人の様子を1年間カメラが追いかけてきました。

2023年11月12日に行われた近畿大会では、圧巻のパフォーマンスを披露し、同ペアで2連覇。相愛高校としても大会3連覇を果たしました。そして、2024年2月4日香川県で開催された全国大会。二人の息の合った花いけと

抜群の安定感で決勝までコマを進めました。そして迎えた決勝戦、相手は地元香川のペア。果敢に攻めた作品づくりでしたが、惜しくも準優勝となりました。悔し涙を流した二人でしたが「花いけバトルを通してたくさんの花や人と出会えたこと、たくさん応援していただいたことに感謝します。」と最後は笑顔で会場を後にしました。

動画はこちら▶



©一般社団法人花いけジャパンプロジェクト





## 相愛音楽祭2023

2023年10月29日に音楽学部主催の「相愛音楽祭」が南港ホールにて行われ、ハーブデュオ、金管アンサンブル、コーラス、教員と学生とのアンサンブル、創作演奏(ピアノ、エレクトーン)、フルートオーケストラ、弦楽アンサンブル、ピアノ

デュオ、サクソフォン・アンサンブルがそれぞれ素晴らしい演奏を披露しました。その他にも、音楽療法のワークショップや作曲専攻生の作品発表も開催。また、柏木玲子教授と清水信貴教授のピアノとフルートによるセッション、トリは

相愛サクソフォンアンサンブルの演奏で締めくくり、大勢の観客から盛大な拍手をいただきました。企画運営はアートプロデュース専攻の学生たちが行い、素晴らしい音楽祭となりました。

## 相愛オーケストラ第80回定期演奏会

2023年10月26日にザ・シンフォニーホールにて相愛オーケストラ第80回定期演奏会が開催されました。上田真紀郎先生、円光寺雅彦先生指揮の下、相愛ジュニアオーケストラ、相愛ストリングオーケストラ、相愛シンフォニーオーケストラが魅力的なプログラムを演奏しました。

記念すべき第80回を迎えた今回は、相愛サクソフォンアンサンブルがプレコンサートでバッハ作曲「トッカータとフー

ガを演奏。シンフォニーホールのオルガンを使用しサン＝サーンス作曲「交響曲第3番「オルガン付き」や、アンコールでは相愛シンフォニーオーケストラと相愛ジュニアオーケストラが合同で、エルガー作曲「行進曲「威風堂々」第1番をオルガン付きで演奏するなど、かつてないほど絢爛豪華な舞台となり、大変華やかな空間と満場の客席からの熱狂的な拍手に包まれました。



## 相愛ウィンドオーケストラ第45回定期演奏会



2023年11月17日、ザ・シンフォニーホールにて相愛ウィンドオーケストラ第45

回定期演奏会が開催されました。若林義人先生、新田ユリ先生指揮の下、色彩と表現をテーマに、D.ミヨー、V.ネリベル、本学音楽学部作曲専攻教授の松本直祐樹先生に新たに委嘱した「幻ではなく、波が」の吹奏楽オリジナル作品の3曲、C.ドビュッシー、M.ラヴェルのオーケストラ作品吹奏楽編曲版3曲、全6曲を演奏し多彩なプログラムとともに素晴らしい作品を披露でき、吹奏楽

の新たな可能性を感じさせる演奏会となりました。また今回演奏された曲は、相愛ウィンドオーケストラ第3弾となるCDにも収録されています。相愛ウィンドオケの学生と教員の総力をあげて取り組んだ演奏をお楽しみいただけたらと思います(2024年3月ワコーレコードより発売)。



企画:ティーン出版  
録音:ワコーレコード

【お知らせ】

2024年8月上旬、ショパン音楽大学夏期講習開講予定。対象:相愛大学音楽学部在学および卒業生  
お問い合わせ先:音楽学科合同研究室 電話:06-6612-6245 メール:piano\_organ@soai.ac.jp

# 相愛寄席



2023年11月11日に第14回相愛寄席を開催しました。地域貢献活動である人文学部公開授業「大阪文化特殊講義—宗教と芸能の人間学—」の一部として毎年開催されている相愛寄席、今回は「二代目桂春の輔襲名披露公演」。当日の出演者は桂春の輔・桂春團治・桂梅團治・



露の都・露の紫。音楽学部の協力によってオペラカーテンを使用し、国立文楽劇場でも使用された襲名披露の後幕を垂らした南港ホールは、ひととき華やいだ雰囲気となりました。人文学部学生有志の

裏方スタッフにより円滑な運営を行うことができ、音響については音楽学部の学生が担当しました。当日は大阪市を中心に近畿一円から多くの来場があり、襲名披露にふさわしい催しとなりました。



## 公認心理師養成課程における学生たちの取り組み

こころの問題に取り組む国家資格(公認心理師)が誕生し、本学でも2020年度より養成課程がスタートしました。同課



程の1期生たちも4回生となり、卒業研究や大学院受験準備、就職活動を行いながら、学外実習にも取り組みました。

国家試験受験に必要な学部における実習は80時間と定められていることから、学生たちは総合病院に加え、精神科クリニックやデイケア、障害者福祉支援施設、児童相談所、少年院など、さまざまな領域での実習に取り組みます。事前実

習では、学生が主体となって実習施設に関する調べ学習も行います。

実習先施設で目の当たりにする現実には衝撃を受ける学生もいますが、事後実習で体験を共有し議論することで、しっかりと受け止め、社会貢献やそのための学びについて考えるようになります。教室で重ねてきた学修が社会での実践につながる、その実感が学びの喜びになっています。



## キャリア講座

敬愛会(相愛大学保護者会)の支援をうけ、昨年度も株式会社ヒューマンラボから船越伴子さんを外部講師としてお招きし、人文学部の1回生から3回生までのキャリア支援、就職対策講座を行いました。1回生・2回生を対象としたセミナーでは、充実した学生生活を送るためにワークショップを交えて「いまここで何を学ぶのか」「どのような学生生活を送るのか」

を中心に学びました。3回生を対象としたセミナーでは、前期はインターンシップ参加に向けた準備、後期はこれから始まる就職活動に向けての実践的な内容について、ワークショップ・ディスカッションなどを交えて行いました。

近年、早期化される就職活動にも対応できるような内容で、学生にとって有意義な学びの場となりました。参加した学生は「このセミナーに参加して、これまで他人事のように考えていた就職活動を自分事として考えられるようになった。自信を持って

取り組んでいきたい」と語ってくれました。

また3回生には、全てのセミナーにおいてスーツ着用での参加を呼びかけました。最初のうちは慣れないスーツ姿でしたが、後半になるとスーツが似合うようになってきました。これからの彼らの活躍を願うばかりです。



2024年4月より学科名称が「子ども教育学科」と「管理栄養学科」に、新しくなりました! //

## PBL(プロジェクト型学修)「保育・教育マネジメント」

～新しい総合的な学び「協調・協働学修システム」～

「保育・教育マネジメント」で  
選べる活動

おはなし隊
ハンドベル隊
オレンジリボン隊
ピオトープ隊
みそ汁隊
ICT活用隊
自分の殻を破ろう

子ども教育学科ではこれまで、多彩な学修環境を活用した地域連携、社会貢献活動を展開してきました。2016年度に、これらの活動をカリキュラムに位置づけ「保育・教育マネジメント」科目として各学年に開講しました。本科目は、プロジェクト活動別に異学年合同で取り組むことが特徴です。毎年10月に開催している「相愛子どもわくわくあそび広場」も本科目の活動の一つです。その他にも、1年間を通して取り組む活動が合計7種類あります。

その中から今回は、「ハンドベル隊」と「オレンジリボン隊」の活動を紹介します。



### ハンドベル隊

ハンドベル隊は活動を始めて15年目。長い間、有志団体として活動し、学内だけでなく近隣の幼稚園や保育園でも子どもたちの前で演奏してきました。2021年度からは「保育・教育マネジメント」科目の一つの取り組みとして活動を続けています。演奏で使用しているアメリカのマルマーク製のベルは、雑味のない透明感のある音が出ます。一度その音を聴くと魅了され、さらにベルを振る体験をすれば、演奏に参加したくなるようです。楽譜があまり読めないメンバーも在籍していますが、お互いに楽譜の読み方を教え合い、音をよく聞き合いながら鳴らし方も工夫して、楽しく充実した練習をしています。昨年度は「相愛子どもわくわくあそび広場」や同窓会の総会で演奏をしました。近隣のショッピングセンターでも演奏会をさせていただくなど地域との連携や活動の場を広げています。



### オレンジリボン隊

オレンジリボン隊では、「子どもの虐待」「障がい」「インクルージョン」などをキーワードとして、学生たちの興味・関心をもとに活動・学習を進めています。これまでに、「子どもの虐待防止」をめざすオレンジリボン運動に関わるポスターを作成し、学生たちが行き来する廊下に掲示するなどして、他学科の学生にも意識の向上を図れるような取り組みを行ってきました。昨年度は、母子生活支援施設の見学などを行うとともに、そこで学んだ内容を2年生、3年生を対象に発表しました。後輩たちは真剣に聞いており、母子生活支援施設について詳しく理解し、関心が深まった様子でした。このような活動を通して、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭としての資質を高め、学びを深めるとともに、情報発信する力を身につけたいと思っています。

※「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動



## 学年を超えたプロジェクトの取り組み

～社会人基礎力を身につけるために～

同学年だけでなく異学年とも協調・協働して取り組む活動は学習効果が高いと言われています。低学年では、周辺的な役割をしますが、上級生と関わりながら徐々に中心的な役割を担うようになり、全体を見通しマネジメントできる力を身につけていきます。

経済産業省が定義する「人生100年時代の社会人基礎力」では、社会人基礎力の3つの能力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置づけられています。子ども教育学科の学年を超えたプロジェクトの取り組みは、社会人基礎力を身につけることのできる総合的な学びのシステムです。

2023「秋の大感謝祭特別企画」  
KYK×相愛大学 秋の味覚彩り弁当販売!



## 京阪百貨店「秋の大感謝祭特別企画」において 大阪3大学で学ぶ管理栄養士をめざす学生たちと百貨店で人気のお店がコラボ!

2年生6名が、とんかつKYKとともに「秋の味覚彩り弁当」の開発に取り組みました。「カラフル」をテーマに数か月の打ち合わせを重ね企画しました。学生たちが「赤」「黄」「緑」「白」「黒」の彩りと栄養のバランスを意識しながらメニューを考案。ありそうでなかった「鮭の豚巻き」や「ポテトサラダの豚巻き」をはじめ、韓国で人気の海苔で巻かないキンパを基に「パプリカ」「ピーマン」「紅あずまの甘露煮」「しめじ」「レッドキャベツとピーツのラペ」などを和風に味付けして巻かないキンパを表現しました。ご飯は、秋の味覚「栗」を使用し

た十六穀米。「いろんな料理を味わってほしい」「お弁当を開けて驚いてほしい」「幅広い世代の人たちに食べてほしい」など、秋を感じるお弁当が完成しました。



## 「ハルカス学園祭2023」 近鉄百貨店あべのハルカス本店

近鉄百貨店あべのハルカス本店が社会貢献、産学連携・地域連携事業として展開している「ハルカス学園祭」に参加しました。この事業は、2021年度から始まった取り組みで、関西の大学・専修学校約30校が参加し、2023年11月16日から11月20日まで近鉄百貨店あべのハルカス本店9階催会場で開催されました。

前回に引き続き発達栄養学科からは、1年生の学生がSDGsの取り組みの一環として、大豆ミート(代替肉)を利用した商品「2種類(大豆ミートピザ(ミートソース味、カレー味)」を開発し、販売しました。環境にもやさしい大豆ミートを使った高たんぱく質食です。

学生たちは何度も試作を重ね、商品をつくり上げました。販売ではできあがった商品を熱くPRし、多くの方が手に取っていただきました。



Round-Table Talk

## イケアによるコーディネート! 食堂改革プロジェクト



### Q.「食堂改革プロジェクト」に参加することになったきっかけは何ですか?

私たちは発達栄養学科に在籍しています。食に関する勉強をしながら、大学の食堂があまり賑わっていないと感じていました。そんな時、先生から食堂改革のお話を伺ったことがきっかけでぜひ「食堂改革プロジェクト」に参加したいと思いました。

### Q.リニューアルに向けて取り組んだこと、企画案が採用された時の気持ちを教えてください

まず皆で他大学の食堂や街中のカフェを訪れ、内装や提供形態などを

研究し、3Dソフトで内装を考え初期案を提出しました。家具量販店のイケアのインテリアデザイナーにサポートいただくこととなり、内装について会議を重ね、食堂で使用する家具も店舗で選ばせていただきました。最終案まで何度も案を考え、案が通った時は、喜びとともに皆で胸を撫で下ろしました。

### Q.企画案作成時に苦労したこと

多くの方が利用できるように席数を増やすためのレイアウトに苦労しました。限られているスペースにどう席を

設置すれば数が増えるのかを、皆で試行錯誤しながら考えました。

### Q.食堂が新しくなることへの思い、期待などを教えてください

皆が交流の輪を広げる、賑わいと憩いの場となってほしいと思っています。メニュー開発には発達栄養学科の学生が携わっているので、栄養面にも力を入れていきます。ぜひ多くの方に食べていただきたいです。

※発達栄養学科は2024年4月より管理栄養学科に名称変更



### 2024年度 相愛大学附属音楽教室生募集

【随時受付】「入室準備コース」開講中  
【毎月受付】相愛大学附属音楽教室 通信教育《楽典》

【詳細情報】<https://www.soai.jp/onkyo>  
【入室試験】春期・秋期入室試験の詳細についてはホームページをご覧ください。  
【募集対象】学齢2年前より大学受験生まで  
【お問合せ】TEL:06-6262-0662 Fax:06-6262-0664



### 2025年度 相愛ジュニアオーケストラメンバー募集

相愛ジュニアオーケストラでは2025年度からの新たなメンバーを募集しております。  
【詳細情報】相愛ジュニアオーケストラFacebook  
<https://www.facebook.com/相愛ジュニアオーケストラ-100431264881125/>  
【募集対象】小学1年生から高校3年生まで※2025年度4月時点  
【募集楽器】ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ  
【お問合せ】相愛大学音楽学科合同研究室内  
相愛ジュニアオーケストラ係 TEL:06-6612-3954(土日祝 閉室)



### 相愛学園ウィステリア基金 ご寄附のご案内

相愛学園のさらなる発展に向け、今年も引き続きご支援をお願いいたします。今年も皆さまから「ウィステリア基金」としてご寄附をお願いし、それを教育、研究、地域連携・社会貢献活動の充実に活用させていただきたいと考えております。なにとぞご支援の程よろしくごお願い申し上げます。

【詳細情報】QRコードまたは相愛学園ホームページ「ご寄附のお願い」をクリック  
【お問合せ】学校法人相愛学園 総務部財務課(ウィステリア基金担当)  
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1  
TEL:06-6612-5901(平日9時~17時) MAIL:wisteria@soai.ac.jp



### 卒業生・修了生対象「就業力調査」のご案内

相愛大学では教育内容の改善や社会的貢献につなげることを目的として「就業力調査」を実施しています。現在の就業状況などについて、皆さまからご意見をお伺いし今後の就職支援に役立てることを考えています。よりよい大学にしていけるためにぜひともご協力くださいますようよろしくお願いいたします。



【詳細情報】  
QRコードまたは相愛大学ホームページより「卒業生の方」をクリック

相愛大学



@SOAI\_univ



SOAI\_UNIV

相愛  
中学校・  
高等学校

@SOAI\_INSTA

学校法人相愛学園

相愛ファミリアの送付先を変更される場合は、右記QRコードまたはホームページの対象者別メニュー「卒業生の方」からご連絡ください。  
<https://www.soai.ac.jp> ※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

